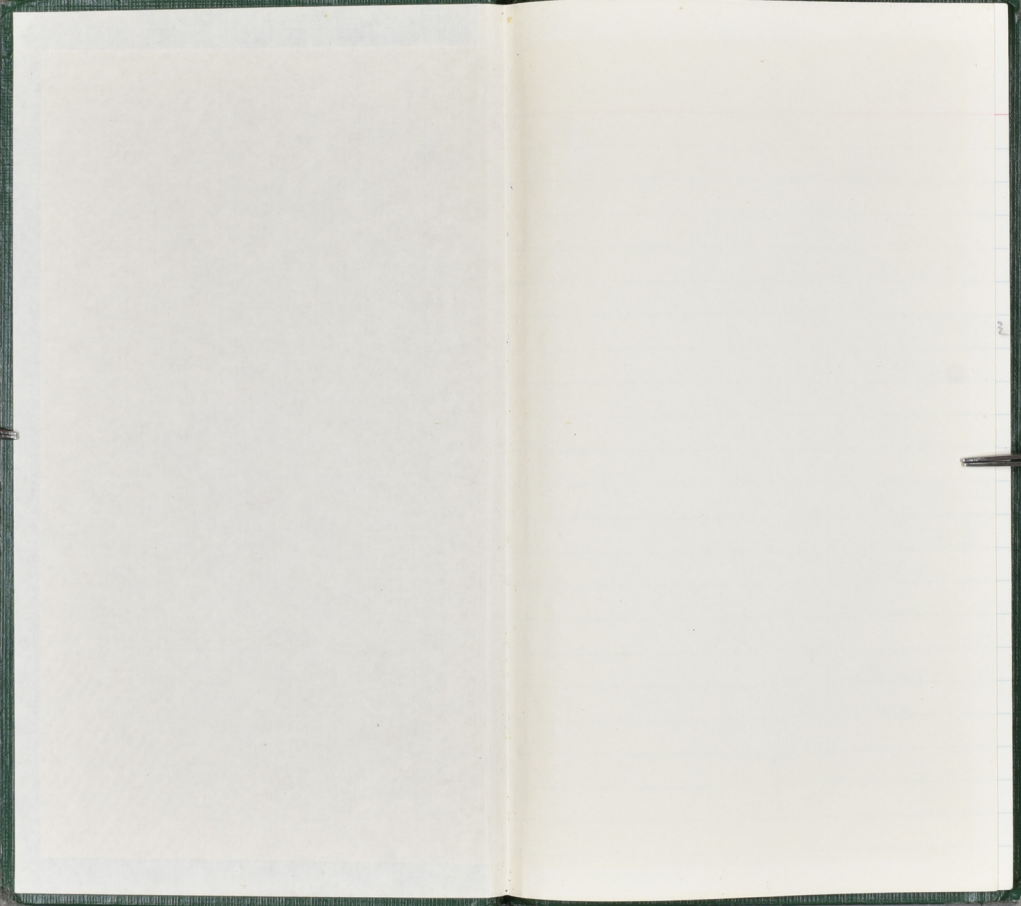


LEVEL BOOK

台灣 Mar. 2003



台湾 Mar. 10 ~ 17. 2003
大館. 川田伸一郎(名大)
瑛子 研中

Mar 10

午後 1335 名古屋行 ANA

1520 名古屋着

1705 Cathay Pacific CX 531

1930 Taipei 着

↓ 押田君. 張君 羊出向

台中. 東海大学 Guest
house 泊

宿舎に 林先生. 張さん 等と合ふ

May 11 押田. 張育誠. 詹坤潔. 大館. 川田

8時半 大学近の レストランに朝食

12時 9時過ぎに 阿里山へ

16時前 阿里山 到着. すぐ

7+ set 小雨

大型ハジキ 7+10. 小型シマ 2

10 set. すぐ in *Eothenomys*

melanogaster 1.

Soriculus fumidus 1 採

Mar. 12

Anourosorex squamipes 1
Soriculus fumidus 1
Volemys kishuchii 1
Eothenomys melanogaster 5
Apodemus semotus 5

木とりのり

Eo melanogaster 1
V. kishuchii 1
A. semotus 3

のみ標本

これは大館、3匹君

夕方霧

E. melanogaster 1
 1 *kishuchii* 1 (標本)

折尾川形セーマン 22 set
 (S. sodalis を 23 11)

Mar. 13

11日 set の 7 + 12

Anourosorex 1
Apodemus 3
Eothenomys 1

12日 set の 7 + 12 (*Soriculus* を 14
 と 23 7 + 7 かけたの)

Soriculus fumidus 3
Anourosorex 1
Apodemus 1

標本 倉虫 野田大館、ネズミ
 は 3匹君

午後 台中へ 東海大 guest
 house 泊

Mar 14 埔里市へ
台内→埔下
A 南山溪 (岩多)
大抵約16 set 魚餌

B 層 溪上流 本流はBb型の岩
少く、上流にビニ
ールハウスあり、大量

C 層 溪のB型
7 (上流、ビニール
ハウスあり
川はBb型

岩ほとんどなし、
リナカク陽射
もほとんどなし
7 set. ~~4~~ open
河畔樹木なく
open.

埔里市 天一大飯店泊

カネズミ用リナカク
Bb型
200m区間のみ。
その下は岩非音
りなく人工改竄

肥料を流すため
水深多量、支流
はAa型岩多く
カネズミ habitat
の部分の10 set
カバーし。

Mar 15

A. 南山溪

カネズミ

この区間は岩多く、
habitatがあるが下流は
ブルターザンによる工事中等。
あるいはコンクリート岸からの
改竄のせい不良。

流の上流部にも新造
(コンクリート)が作られた為
300mほど河床が割裂、
の南側の川に改竄され
ている。それより上流の
部分には habitat があ
るかも知れない。

しかし調査区間(約200m)
内(生息可能な区間)はあまりにも
短かく、population 維持のため
短くても調査する為、生息河川
の調査を行う。

これは大館標本として保存されていす

B. 扇溪上流 ^① (下流)

本流 Bb 型部分 4個の
ワナでカワネズミ 1匹
このワナ列の上流側は
かけた大館君のワナで
1早採 (Prey 2)

下流4組の最下流ワナ位置
の下左岸に流入する支流
(Aa型) の10位では0,
但しこの部分は谷のワリ
トソーである可能性が
高い。

ワナ列を遡る
② 支流上流側 (流の上) に
折れこみ 14組 set
岩 0.5-1m 多いが cover
なし Bb+Aa型

C Bの本流より上流側
カワネズミ 0
5m 前後のカニ多く採れん
どカニがいかかり
A型へビ1頭かかす 引上げ

Mar 16

B. 支流 ② (昨日カニに妨害され
たこと) にワナネズミ 1
早採 Prey 3

B ① ③ は 0.

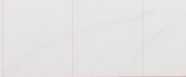
色北の 富都大飯店泊

Mar. 17

8:30 出発 空港へ

12:00 乗 Cathay Pacific
名古屋へ。
夜帰宅

4-11-1942



The following table shows the results of the experiment conducted on 4-11-1942. The data is presented in a grid format with columns for 'Time', 'Temperature', and 'Humidity'. The values are recorded at various intervals throughout the day.

Time	Temperature	Humidity
8:00 AM	65	75
9:00 AM	68	78
10:00 AM	70	80
11:00 AM	72	82
12:00 PM	75	85
1:00 PM	78	88
2:00 PM	80	90
3:00 PM	82	92
4:00 PM	85	95
5:00 PM	88	98
6:00 PM	90	100
7:00 PM	88	98
8:00 PM	85	95
9:00 PM	82	92
10:00 PM	80	90
11:00 PM	78	88
12:00 AM	75	85

The experiment was conducted in a controlled environment, and the results show a clear correlation between the variables measured. The temperature and humidity both increased steadily from morning to evening, reaching their peak values at 6:00 PM, before beginning to decrease.

The right page of the notebook is blank, with only a faint red horizontal line visible at the top, corresponding to the one on the left page.

法字說
chung yü-chang

30)

者中安

張育誠

Chang Yu-Cheng

5.5

看坤潔

押田龍夫

001-886-4-23507025

川田

090-66467399

1910

001-556-4-23507025

1910

010-664-67379

KOKUYO

々-Y1